

授業科目 NO. 619 看護制度と政策

The Nursing System and Policies

授業の形態：講義

単位数（時間数）：1単位（15時間）

開講年次・学期：4年次・後期

必修・選択の別：選択

キーワード：医療政策、看護政策、医療計画、地域医療構想、診療報酬、介護報酬

1 金沢医科大学看護学部の到達目標（全科目共通です）

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学習目標

1) 一般目標（GIO）

看護の実践と医療・看護政策がどのように関係しているかを過去から現在に至る制度等を通して理解する。

2) 行動目標（SBO）※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部の到達目標との関連を示す。

- (1) 看護政策が決まる仕組みを述べられる。(③)
- (2) 石川県の医療構想・地域医療計画と看護実践の関係について理解し、看護職に求められる役割について意見が述べられる。(③)
- (3) 看護現場に影響を及ぼす政策と課題について述べるができる。(③)
- (4) 興味をもつ医療・看護分野をひとつ取りあげ、医療・看護政策の背景・決定までのプロセス・審議内容、政策内容をまとめ、発表し、意見交換することができる。(③④)

3 学習内容

授業の内容については、授業計画に示す。

4 評価

評価項目	評価割合
定期試験成績	%
実習成績	%
レポート	50%
授業態度	%
小テスト	%
その他（ディスカッション、プレゼンテーション）	50%
合計	100%

（特記事項）

5 教育担当者

科目責任者：前田 修子

教 授 前田 修子（在宅看護学）

6 教科書

特に指定しない

7 推薦参考書

角田由佳：看護サービスの経済・政策論 第2版：看護師の働き方を経済学から読み解く、医学書院、第2版、2020

津川友介：世界一わかりやすい「医療政策」の教科書、医学書院、2020

田倉 智之：医療の価値と価格：決定と説明の時代へ、医学書院、2021

見藤 隆子、石田 昌弘他：看護職者のための政策過程入門 第2版—制度を変えると看護が変わる!、日本看護協会出版会、2017

尾形裕也：この国の医療のかたち 医療政策の動向と課題 2025年のヘルスケアシステム、日本看護協会出版会、2022

8 準備学修に必要な時間又は具体的な学修内容

- 1) 授業1コマにつき、事前学修・事後学修として計180分程度必要です。
- 2) 選択科目であり履修者数が少ないことから、ゼミ形式で進めます。
- 3) 課題発表や積極的なディスカッションには、説明準備、ディスカッションのための準備学修が必要です。
- 4) 学生個々の興味関心を中心にゼミを進めますので、自らが看護政策や医療政策について興味関心をもてるように、ニュース記事の中での医療や看護の取り上げ方について確認しておくこと、自分の意見をもつことが準備学修になります。新聞記事、ネットニュース、ニュース番組、討論

番組などを視聴・閲覧し、今起きていること、多様な分野の専門職からの見解を理解しておくことが授業の理解を深めることに役立ちます。

9 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

- 1) 授業態度・プレゼンテーションに関するフィードバックは授業時に行います。
- 2) レポートは、内容についてコメントし採点結果をお伝えします。
- 3) レポート課題・ディスカッションは、あらかじめ評価指標をお伝えします。
- 4) プレゼンテーションについて、教員からのフィードバックはもちろんですが、学生同士のフィードバックも活発にしていきたいと思います。

10 履修上の注意事項

- 1) 受講者が少ないことが想定されますので、履修者人数によって、授業方法を変更して進める場合があります。
- 2) 医療・看護政策は、看護現場や看護実践に大きな影響をもたらします。また、現場の声を政策づくりに届けることも必要です。この科目で学修する内容は、看護師・保健師・助産師における看護実践・看護教育・看護管理において役立つ内容です。是非、主体的に参加し、授業を学生と教員で創っていきましょう。
- 3) 年度中の医療政策等の動向によって、授業内容を変更する場合があります。
- 4) 4年生後期の科目のため、受講者の進路や今後の専門性も取り入れながらテーマ設定していきます。
- 5) 本科目は、本学看護学研究科1年生科目「地域医療支援論」につながる科目です。

11 オフィスアワー等

学内にいる場合は対応しますので、事前にメールください。(mshuko@kanazawa-med.ac.jp)
研究室は、1号棟4階404号室です。

第4学年

看護制度と政策

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
後	1	10月31日(火)	3	講義	ガイダンス 医療政策・看護政策の策定とプロセス 政治と看護	レポート	在宅看護学	前田教授
後	2	11月07日(火)	3	講義	地域医療構想・医療計画 看護職に求められる役割	レポート	在宅看護学	前田教授
後	3	11月10日(金)	2	演習	主な医療・看護政策の紹介 興味のある分野を選択、情報収集、資料作成		在宅看護学	前田教授
後	4	11月14日(火)	3	演習	情報収集、資料作成		在宅看護学	前田教授
後	5	11月17日(金)	2	演習	診療報酬・介護報酬と看護について、専門家へのインタビュー(調整中)	フィールドワーク	在宅看護学	前田教授
後	6	11月21日(火)	3	演習	看護政策担当者へのインタビュー(調整中)	フィールドワーク	在宅看護学	前田教授
後	7	11月24日(金)	2	演習	興味のある医療政策・看護政策についての 動向紹介と自分の考えを発表	プレゼンテーション、 ディスカッション	在宅看護学	前田教授
後	7.5	11月28日(火)	2	演習	興味のある医療政策・看護政策についての 動向紹介と自分の考えを発表	プレゼンテーション、 ディスカッション	在宅看護学	前田教授